

リチウムイオン電池の

膨張、発煙発火に注意

No. 212

リチウムイオン電池はスマートフォン、モバイルバッテリー、ワイヤレスイヤホンなど、日常生活において身につけたり持ち歩いたりするさまざまな製品に使用されており、これらの製品からの発熱、発火による事故が全国的に増加しています。

【事例1】

スマートフォン用のモバイルバッテリーがすぐ膨張してきて怖い。廃棄したいが危険かも知れない。どこに廃棄すべきか。

◎使用する際のアドバイス

・製品に膨張や変形、発熱が生じたら使用をやめてください。

・高温になる場所や熱のこもる場所、圧力のかかる場所への保管・放置はしないでください。

・強い衝撃を与えたり、製品を分解しないでください。

・充電器等は必ず純正品を使用し、充電は目の届くところで行ってください。

◎PSEマーク

3年前にネット通販で購入したリチウムイオン電池を使用した自転車用ライトが走行中に突然爆発し、腹部にやけどを負った。

・PSEマークとは、電気製品が安全性を満たしていることを示すマークです。コン

セントやACアダプター等、高い安全性が要求される品目（特定電気用品）には菱形のPSEマークが、それ以外の電気用品には丸型のPSEマークが付されます。



▲丸形PSEマーク



▲菱形PSEマーク

文芸コーナー

短歌

今日の雲着物姿の母に似て

しばし眺める春の空かな

時女 礼子

光りの春朝の太陽背に受けて

湯気の立つお茶我至福とす

今田 秀子

元旦は国旗を掲げる習わしの

あり日の姿懐しく思う

秋葉 千恵子

年に一度の挨拶状も

スマホですます現在の世寂し

関 武雄

被災地で未だ不便を耐える人

想いてせめて暖房控え

山本 明美

俳句

親ばなれ入園式の第一歩

大戦の過し夢見る80年

水底に鯉も動かぬ余寒かな

御園生 富美江
渡辺 通
村杉 千恵子

川柳

然りげ無く近寄ってくる物忘れ

春と秋消えて心がささくれる

積雪はクマより怖い牙を持つ

つい忘れ猫背を直す街鏡

郷に入り郷に従う施設かな

福田 研治
高山 英子
木原 一成
横田 清
伊藤 薫

●偶数月は「短歌・俳句・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。
●投稿は楷書でお願いします。作品・氏名(ふりがな)・電話番号を明記してください。

※俳句、短歌、川柳の原稿送付先 〒297-8511 茂原市道表1番地 茂原市役所シティプロモーション課宛「文芸コーナー」と朱書きしてください。

